

# 北見工業大学学報

第 252 号 (2012 年 7 月号)

## 目 次

入 試	平成 25 年度入学者選抜要項の公表……………	2
	平成 25 年度編入学試験の実施……………	4
研 究 助 成	平成 24 年度共同研究の受入状況……………	5
	平成 24 年度受託研究の受入状況……………	6
	平成 24 年度奨学寄附金受入状況……………	6
人 事	人事異動……………	7
諸 報	第 5 回小学館「大学は美味しい!!」フェアへ参加……………	8
	進学相談会(八戸、盛岡)を実施……………	9
	北海道 11 国公立大学進学コンソーシアム 2012 in 函館 に参加……………	10
	平成 23 年度教育優秀者表彰式を実施……………	11
	「研究室公開」を実施……………	12
	父母懇談会(春季・北見)を開催……………	13
	北見工業大学ブックリユース「本、さしあげます。」を開催……………	14
	「学生選書ツアー」を実施……………	15
	事務職員のための講演会を開催……………	16
	ハラスメント相談員研修を実施……………	17
	安全衛生講習会の開催について……………	18
	北見工業大学技術セミナー(CPD プログラム認定講座)の開催……………	19
	北苑寮自主消防訓練の実施について……………	20
	第 59 回北見ぼんちまつり舞踊パレード北見工業大学チーム参加……………	21
	オープンキャンパスを開催……………	22
	環境広場さっぽろ 2012 に参加・出展……………	23
学 内 日 誌	6 月・7 月……………	24

## = 入試 =

### 平成 25 年度入学者選抜要項の公表

(入 試 課)

平成 25 年度入学者選抜要項が公表されました。概要は以下のとおりです。

#### ○入学定員（募集人員）

系・学科名		入学定員	募集人員		
			前期日程	後期日程	推薦入試
機 械 ・ 社 会 環 境 系	機 械 工 学 科	160 人	70 人	50 人	40 人
	社 会 環 境 工 学 科				
情 報 電 気 エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス 系	電 気 電 子 工 学 科	140 人	63 人	42 人	35 人
	情 報 シ ス テ ム 工 学 科				
バ イ オ 環 境 ・ マ テ リ ア ル 系	バ イ オ 環 境 化 学 科	110 人	46 人	36 人	28 人
	マ テ リ ア ル 工 学 科				
工学部合計		410 人	179 人	128 人	103 人

※ 入学後1年間は各系に所属し、2年次進級時に本人の志望及び学業成績により系内の学科に移行します。

注① 後期日程の募集人員には、各系とも帰国子女特別入試の募集人員若干人を含みます。

② 推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を後期日程の募集人員に加えて募集します。

#### ○選抜方法等

##### 一般入試

	前期日程	後期日程
選抜方法	入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績及び出身学校長から提出された調査書の内容を総合して行う。	大学入試センター試験の成績、本学が行う個別学力検査の成績及び出身学校長から提出された調査書の内容を総合して行う。
出願期間	平成25年1月28日(月)～平成25年2月6日(水)	
試験日	個別試験は課さない	平成25年3月12日(火)
合格発表	平成25年3月6日(水)	平成25年3月20日(水)

推薦入試

選抜方法	学校長より推薦された者について、調査書、推薦書の内容及び小論文、面接の結果を総合して行う。
出願期間	平成 24 年 11 月 1 日（木）～ 平成 24 年 11 月 8 日（木）
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成25年3月卒業見込みの者で、次の二つの条件を満たし、かつ志望する系への能力・適性等について<b>学校長が責任を持って推薦できるもの</b></p> <p>① 高等学校又は中等教育学校における学習成績・人物ともに優れ、特に数学、理科の成績が優秀な者</p> <p>② 志望する系の分野に強い勉学意識と関心を持ち、大学での学習において優れた成果が期待できる者</p>
選抜期日	平成 24 年 11 月 30 日（金）
合格発表	平成 24 年 12 月 12 日（水）

帰国子女特別入試

選抜方法	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除し、成績証明書等の成績、小論文及び面接の結果を総合して行う。
出願期間	平成 24 年 11 月 1 日（木）～ 平成 24 年 11 月 8 日（木）
出願要件	略
選抜期日	平成 24 年 11 月 30 日（金）
合格発表	平成 24 年 12 月 12 日（水）

## 平成 25 年度編入学試験の実施

(入 試 課)

平成 25 年度編入学試験（推薦入試、学力試験入試）が実施され、各学科別の合格者数等は下表のとおりとなりました。

なお、編入学試験（社会人特別入試）については志願者がいなかったため、実施されませんでした。

学科名	推薦入試				学力試験入試			
	募集人員	志願者	受験者	合格者	募集人員	志願者	受験者	合格者
機 械 工 学 科	10	1	1	1	若干人	1	1	0
社 会 環 境 工 学 科		0	0	0		3	3	0
電 気 電 子 工 学 科		2	2	2		1	1	0
情 報 シ ス テ ム 工 学 科		0	0	0		2	2	2
バ イ オ 環 境 化 学 科		0	0	0		0	0	0
マ テ リ ア ル 工 学 科		0	0	0		0	0	0
合 計		3	3	3		7	7	2

## = 研究助成 =

### 平成24年度共同研究の受入状況

平成24年7月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民 間 機 関 等
応用研究 推進センター	特任教授	山岸 喬	常呂産ニンニクおよび常呂産ニンニク製品の有用性に関する研究	日本製薬工業株式会社
バイオ環境化学科	准教授	岡崎 文保	革新的使用済みプラスチック分解技術に関する基礎研究	JFEスチール株式会社
社会環境工学科	教授	中山 恵介	常呂川水系水質調査研究	常呂川水系環境保全対策協議会
応用研究 推進センター	特任教授	山岸 喬	香気物質の分析・解析	金印株式会社
応用研究 推進センター	特任教授	山岸 喬	サンゴの高機能性化の研究	株式会社健康水素協会
社会環境工学科	教授	川村 彰	メタン直接改質技術による活力ある低炭素地域社会の広域構築	北見市企業局
機械工学科	教授	鈴木 聡一郎	日本人の骨格に適合したスキーブーツ設計に関する研究	株式会社レクザム
社会環境工学科	教授	川村 彰	一般路対応簡易IRI測定システム開発及び各国路面IRIデータ収集と活用	株式会社ワーカム北海道
社会環境工学科	教授	中山 恵介	北見市環境調査研究（大気、水質、騒音・振動、臭気、ダイオキシン類）	北見市
電気電子工学科	教授	田村 淳二	新エネルギーシステム変動抑制技術の検討/系統連系インバータ用系統モデル化検討	株式会社日立製作所日立研究所/ 株式会社日立産機システム
社会環境工学科	准教授	井上 真澄	機械インピーダンス法を用いた寒冷地コンクリート開水路の劣化診断技術の研究	独立行政法人土木研究所寒地土木研究所/ 日東建設株式会社
情報システム工学科	准教授	原田 建治	インプリント法とコロナ帯電法を用いたナノ構造形成技術に関する研究	旭硝子株式会社 技術本部技術企画室/ 国立大学法人北海道大学電子科学研究所
バイオ環境化学科	教授	堀内 淳一	下水汚泥の堆肥化に関する研究	北見市企業局
マテリアル工学科	准教授	南 尚嗣	北見市における下水汚泥及び放流水のモニタリング調査研究	北見市企業局
マテリアル工学科	教授	高橋 信夫	北見市浄化センター臭気成分の定量に関する研究	北見市企業局
マテリアル工学科	教授	高橋 信夫	スクラムミックスセンター臭気成分の定量に関する研究	北見市企業局
社会環境工学科	准教授	宮森 保紀	橋梁維持管理におけるスマートセンターの利活用に関する研究	株式会社豊水設計
バイオ環境化学科	准教授	菅野 亨	廃石膏ボード中のフッ素固定・不溶化に関する研究	美幌貨物自動車株式会社

平成24年度累計39件

## 平成24年度受託研究の受入状況

平成24年7月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究担当者	研究題目	委託機関	所要経費 円
社会環境工学科	准教授	川口 貴之	地盤材料の浸透特性の増減に及ぼす地震動による応力・ひずみ履歴の影響解明	公益財団法人 鉄道総合技術研究所	1,000,000
応用研究 推進センター	特任教授	山岸 喬	ケルセチン・イソフラボンの生活習慣病予防機能の科学的エビデンス強化と高含有農作物の作出	京都府立大学法人 京都府立医科大学	2,500,000
バイオ環境化学科	准教授	三浦 宏一	「函館マリンバイオクラスター ～UMI (Universal Marine Industry) のグリーン・イノベーション～」	公益財団法人 函館地域産業振興財団	600,000
機械工学科	教授	大橋 鉄也	ヘテロナノ構造およびその集合体に生ずる変形挙動のメソスケール結晶塑性解析	独立行政法人科学技術振興機構	10,270,000
社会環境工学科	教授	渡邊 康玄	生物多様性を確保するための最適横断面形状と水量に関する研究	国立大学法人北海道大学	1,000,000
社会環境工学科	准教授	駒井 克昭	釧路川流域における湿原再生に向けた栄養塩循環評価手法に関する研究	北海道開発局釧路開発建設部	1,679,000

平成24年度累計9件

## 平成24年度奨学寄附金受入状況

平成24年7月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研 究 者	寄 附 目 的	寄 附 者	寄附金額 円
技術部	技術員	山田 洋文	工学研究のため	技術部 山田 洋文	250,000
社会環境工学科	教授	高橋 清	工学研究のため	日本工営株式会社 札幌支店	315,000
機械工学科	教授	大橋 鉄也	計算工学による組織と特性予測技術に関する研究助成	社団法人 日本鉄鋼協会	200,000
社会環境工学科	准教授	宮森 保紀	橋梁モニタリング技術の開発研究のため	株式会社フジエンジニアリング	800,000
社会環境工学科	准教授	井上 真澄	コンクリートの凍害とアルカリ骨材反応との複合劣化に関する資料収集	株式会社フジエンジニアリング	300,000
情報システム工学科	准教授	早川 吉彦	医用工学研究のため	企業組合 北見産学医協働センター	30,000
社会環境工学科	准教授	早川 博	「圃場の耕起方法の違いによる地表面流発生メカニズムの解明」に関する研究助成	一般財団法人北海道河川財団	2,000,000
社会環境工学科	教授	高橋 修平	雪氷研究推進のため	社会環境工学科 高橋 修平	300,000
社会環境工学科	教授	渡邊 康玄	研究のため	一般財団法人北海道河川財団	1,000,000

平成24年度累計18件

= 人事 =

人 事 異 動

(総務課)

○大学発令

発令年月日	現職名	氏名	異動内容
24.6.30	財務課事務職員	大内 俊輔	出向（北海道大学）
〃	情報図書課事務職員	菊池 翔	辞職
24.7.1	入試課副課長（係長兼務）	斉藤 由紀子	研究協力課副課長
〃	研究協力課副課長	斉藤 順	学生支援課副課長
〃	学生支援課副課長（係長兼務）	渡部 孝弘	学生支援課副課長
〃	学生支援課副課長	斉藤 仁史	入試課副課長（係長兼務）
〃	北海道大学農学事務部主任	福井 将人	総務課係長
〃	情報図書課係長	船木 敦子	研究協力課専門職員
〃	総務課係長	山本 涉	学生支援課係長
〃	総務課専門職員	高橋 定志	情報図書課係長
〃	財務課主任	三宮 智仁	総務課主任
〃	学生支援課主任	西尾 貴則	財務課主任
〃	総務課事務職員	原 勇介	財務課事務職員
〃	研究協力課事務職員	根本 綾子	学生支援課事務職員
24.7.31	財務課事務職員	梅庭 雄輔	辞職（旭川医科大学へ転出）
24.8.1	学生支援課事務職員	泉 真理恵	情報図書課事務職員
〃	（新規採用）	佐藤 匠	財務課事務職員
〃	（新規採用）	佐藤 賢児	学生支援課事務職員

## = 諸報 =

### 第 5 回小学館「大学は美味しい!!」フェアへ参加

(社会連携推進センター)

5月30日(水)～6月5日(火)に新宿高島屋(東京都)で開催された小学館主催「大学は美味しい!!」フェアへ参加しました。今年は、全国から34大学の参加がありました。北見工業大学ブースでは「雪まリモ」をはじめとする大学開発関連商品、北見工業大学ベンチャー企業開発商品、そして工農教育プログラム受講生開発商品を紹介・販売しました。昨年は本イベントの開催が夏休み中でもあったことから、マネジメント工学コースの学生が販売実習経験として参加しましたが、今年は工農教育プログラムの社会人受講生および事業スタッフ

が中心となりました。

この催しへの参加は人材育成事業の実習の場として、5年に亘りこれまで参加していますが、同窓生が情報交換、母校への郷愁をいだいて会場に来てくれました。本イベントは首都圏での数少ない北見工業大学のPRの場でもあります。毎年、このイベントにいらっしゃるお客様にも北見工業大学の名前を覚えてもらえるようにもなりました。また、卒業生との再会、近況報告、同窓会活動の打合せ等の場になるなど、本イベントの場の活用が期待されます。



「大学は美味しい!!」フェアでの北見工業大学ブース

## 進学相談会（八戸、盛岡）を実施

（入 試 課）

平成24年度北見工業大学進学相談会を八戸（6月16日（土））、盛岡（6月17日（日））で実施し、合わせて193人が参加しました。

当日は田牧純一副学長からの挨拶の後、本学の概要等を説明し、個別相談会等を行いました。



各系の紹介（八戸）



高校教諭を対象とする大学説明・  
質問コーナー（八戸）



全体説明（盛岡）



研究内容の紹介（盛岡）

## 北海道 11 国公立大学進学コンソーシアム 2012 in 函館に参加

(入 試 課)

6月18日(月)、市立函館高等学校を会場に実施された「北海道 11 国公立大学進学コンソーシアム 2012 in 函館」に参加しました。

当日は、各大学がひとつずつ教室を使い、ミニ講演会や大学紹介 DVD の上演会等を行

いました。本学はスライドで大学紹介・学科及び入試制度等の説明を行い、その後、個別相談を行いました。また、学科別の研究内容を紹介するポスターの展示や本学在学生による大学生活の紹介等も実施しました。



## 平成 23 年度教育優秀者表彰式を実施

(学生支援課)

去る 6 月 25 日 (月)、平成 23 年度教育優秀者表彰式を実施しました。

「ベストティーチング賞」は平成 13 年に創設されたもので、今回は平成 23 年度に実施した学生による授業評価の結果、授業に対する準備、熱意、指導等が顕著であるとされた教員 8 人 (各学科 7 人、共通講座 1 人) が受賞し、このうち 4 度目の受賞が 1 人、3 度目の受賞が 2 人となりました。

また、授業形態や教材などの工夫で教育改善が顕著であった教員・グループを表彰する「エクセレントプログラム賞」については、1 人が 3 度目の受賞となりました。

表彰式では、鮎田耕一学長から一人ひとりに盾が授与された後、鮎田学長から受賞者に対しお祝いの言葉がありました。

受賞された方々は、以下のとおりです。

### 「ベストティーチング賞」(敬称略)

機械工学科	教授	富士	明良
社会環境工学科	准教授	川口	貴之
電気電子工学科	〔 准教授	高橋	理音
		助教	岸本
情報システム工学科	准教授	前田	康成
バイオ環境化学科	教授	堀内	淳一
マテリアル工学科	准教授	宇都	正幸
共通講座	准教授	柳	等

### 「エクセレントプログラム賞」(敬称略)

マテリアル工学科	准教授	射水	雄三
----------	-----	----	----



学長を中央に平成 23 年度教育優秀者表彰の各受賞者

## 「研究室公開」を実施

(企画広報課)

6月30日(土)～7月1日(日)に開催された第50回大学祭において、「研究室公開」を実施しました。普段、学外の方が目にする機会の少ない本学の研究内容を、やさしく楽しく紹介し、2日間で小さなお子様からご年配の方まで、9つのテーマに延べ1,424人というたくさんの方が来場してくださいました。

大学で行われている研究の一部に触れるという貴重な体験に、皆さん大満足の様子でした。

公開した研究室のテーマ
今年も QVIC で超立体視
川のふしぎー川はなぜ曲がるの？ー
電波の伝わり方を見てみよう！
光学ワンダーランド
シイタケ（が作る酵素）で色を変える
甘〜い研究ー糖を見分ける賢い分子たちー
摩周湖ー地球環境を見つめる神秘の湖ー
ロボコンのデモンストレーションおよび操縦体験
クリーンなエネルギーを学んで、化学で遊ぼう！！



今年も QVIC で超立体視



川のふしぎー川はなぜ曲がるの？ー



甘〜い研究ー糖を見分ける賢い分子たちー

## 父母懇談会（春季・北見）を開催

（学生支援課）

父母懇談会（春季）を、6月30日（土）に講堂を説明会場として、外国人留学生及び大学院博士後期課程を除く全学生の父母を対象に、例年恒例となっている大学祭の開催に併せて実施しました。

当日は、全国から147組197人の父母が参加し、まず始めに全体説明会において、鮎田耕一学長から挨拶があった後、田牧純一副学長からは「本学の教育及び就職状況等」について説明がありました。また、近藤和雄学生後援会会長からは、当会の活動

状況が報告されるなど、様々な情報が父母に提供されました。

その後、各学科・専攻に分かれた個別面談では、各学科の教員が対応し、父母からは修学状況、就職等について質問が出され熱心なやりとりが交わされました。

また、会場前においては、大学認定商品の菓子「雪まりも」の他、大学関連グッズの販売を行い、参加した父母からは大好評を得ました。



全体説明会の様子

## 北見工業大学ブックリユース「本、さしあげます。」を開催

(情報図書課)

6月30日(土)、7月1日(日)の2日間、図書館で不用になった本と学内の教職員・学生が読み終えた本をリユース(再使用)する企画を、大学祭に併せて開催しました。

平成23年度に重複等で不用になった本を本学教職員・学生および全国の国公立大学図書館等に無償譲渡しましたが、なお、2000冊程度が残っていました。少しでも多くの方に手に取って読んでいただき、学習や研究に役立ててもらおうと、不用本 およそ2000冊、教職員・学生が読み終えた本およそ500冊、保存期間が切れた雑誌およそ

1500冊を準備しました。

事前に案内ポスターを市内各所に配布する等広報活動を行ったところ、10代から60代以上の幅広い年代の来場者がありました。初日の6月30日(土)開場前には50人ほどの列ができ、急遽、入場制限をするなど大盛況となりました。

2日目は初日ほどの賑わいはありませんでしたが、途切れることなく来場者があり、2日間で本1615冊、雑誌766冊が引き取られました。来年以降も開催できればと考えています。



開場前、来場者の列



来場者の選書する様子

## 「学生選書ツアー」を実施

(情報図書課)

図書館では、国立大学図書館協会地区協会助成事業の一環として、本学として初めて「学生選書ツアー」を6月と7月に2回実施しました。事前にポスター等により参加学生を公募し、学部学生、大学院生及び留学生が20人ほどが参加し、大学近くの大型書店で1時間程度の選書を行いました。学生は、限られた予算の中でしたが、趣味や資格、一般図書等、各々興味のある図書

を手にして満足げでした。その後、選書した理由についてカードに記入してもらい館内に展示し、図書館利用者へ紹介する等、図書館と学生との新たな活動となりました。

今後も学生との協働により、図書館の新しい活用等についてアイデアを出し合い、学習支援や利用サービスの向上に反映させたいと考えています。



書店で選書する学生



館内の展示コーナー

## 事務職員のための講演会を開催

(総務課)

本学では、従来から事務職員の資質向上を目的とした事務職員のための講演会を研修の一環として開催しており、7月6日(金)に三木忠一・文部科学省高等教育企画課課長補佐を講師として招きました。

「大学改革の動向について」と題した本講演では、北見工業大学の職員のみならず、道内の大学及び高等専門学校の職員合計81人が参加し、大学改革実行プランへの関心の高さが窺われました。

三木課長補佐は講演の中で、大学改革実行プランの策定の背景、大学改革の目的・方向性を踏まえ、大学入試改革や地域再生の中核となる大学づくりの必要性、大学関係者のみならず初等中等教育関係者や産業界とも話し合いの機会を設け、平成24年度

中からプランのいくつかについても直ちに実行していききたいこと等を、諸外国と比較した詳細な統計データを用いながら説明されました。

今回の講演を通じ参加した職員は、大学の質の向上を目的とした大学機能の再構築に取り組み、そのために大学ガバナンスの充実・強化を進め、主体的に大学改革に取り組む必要があることを強く自覚しました。

講演会終了後、三木課長補佐は、環境・エネルギー研究推進センターを視察し、庄子仁・同センター長から北見工業大学におけるメタンハイドレート研究の目的や成果等の説明を受け、熱心に聴き入っていました。



講演する三木課長補佐



庄子センター長からメタンハイドレートの説明を受ける三木課長補佐



受講者の様子

## ハラスメント相談員研修を実施

(総務課)

7月12日(木)、ハラスメントに対する知識を深めるとともに、ハラスメントに起因する問題が生じた場合の必要な対応を習得するなど、ハラスメント相談員としての資質を向上させることを目的として、ハラスメント相談員研修を実施しました。

外部講師から、パワー・ハラスメントを

中心としたハラスメントの定義や求められる相談員の役割、ハラスメントへの対策や防止策、ハラスメント相談のためのコミュニケーションについて演習を交えた講義が行われ、受講者はロールプレイングなどに積極的に取り組んでいました。



受講時の様子



## 安全衛生講習会の開催について

(施設課)

7月12日(木)、総合研究棟2階多目的講義室にて平成24年度第1回安全衛生講習会が行われ、学生及び教職員合わせて約50人が参加しました。

はじめに高橋信夫環境安全センター長からの注意喚起を受け、北海道安全衛生サービスセンター安全衛生管理士の工藤薫氏より、「大学の安全管理と事故事例について」と題してお話いただきました。

近年の労働災害に関する状況を表やグラフを用いて説明をした後、本学の建物の

安全性が保たれているかを巡視した際に、荷物の落下・ボンベの転倒など、事故に繋がる恐れがある状態について、写真を用いながら説明していただきました。

まとめとしてリスク調査の徹底・中長期計画の作成など、日頃の取組が事故防止に繋がるという内容に、受講者のアンケートから、「勉強になった」、「本学の不具合例についての話をもっと聞きたかった」など、安全衛生に対する知識向上の熱意が感じられました。



講習会に集まった学生と教職員



講話をする工藤氏

## 北見工業大学技術セミナー（CPD プログラム認定講座）の開催

（研究協力課）

平成 24 年度北見工業大学技術セミナー（CPD プログラム認定講座）が 7 月 13 日（金）に本学総合研究棟多目的講義室で実施されました。

本セミナーは、地域貢献活動の一環として、土木・建設関係技術者に最新の技術動向及び建設コンサルタントを取り巻く状況等についての理解を深めてもらうために昨年から実施しているもので、建設コンサルタント協会の認定講座であります。

セミナーでは、本学社会環境工学科 宮森保紀准教授、(株)福田水文センター環境水工部長 林克恭氏、(株)北未来技研管理部審査課長 小杉勝則氏、及び(株)豊水設計構造

マネジメント部長 佐藤之信氏の 4 人の講師が、「安全安心のための社会資本整備の方向性」をテーマにそれぞれの分野・立場からお話をされました。

平日にも関わらず、オホーツク管内や帯広から設計、測量、コンサルタント関係の技術者約 50 人が参加され、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の貴重な写真や津波のメカニズム、また、建設技術者からの環境問題への提言などに熱心に耳を傾けていました。



開会の挨拶をする鮎田学長



熱心に講義を聴く参加者

## 北苑寮自主消防訓練の実施について

(施設課)

7月15日(日)、寮生約50人が参加し平成24年度北苑寮自主消防訓練が行われました。

当日は北見地区消防組合東出張所立会いのもと、通報係の寮内放送で火災発生を周知し、消防署への模擬通報を行った後、寮生が避難訓練を実施しました。訓練終了後、消防署員から「避難するときは姿勢を低くしましょう。」などの指導や講評をいただき

ました。

引き続き、消火器を使った模擬消火訓練や屋内消火栓を使っての放水訓練などを実施し、最後に救命救急講習を行いました。この講習では、AEDの取扱いなどについて北見地区消防組合本部の織田浩一氏から講演の後、寮生たちはダミーを使った救急時の対応など熱心に取り組んでいました。



講評をする消防署員と耳を傾ける寮生



水消火器を用いた模擬消火体験



勢いよく放水される屋内消火栓



熱心に救急時の対応を学ぶ寮生

## 第 59 回北見ぼんちまつり舞踊パレード北見工業大学チーム参加

(社会連携推進センター)

地域とともに歩む北見工業大学の社会との連携窓口を担う社会連携推進センター（旧 地域共同研究センター）は、今年、設立 20 年の節目を迎えます。当センターではその節目を祝う、様々な事業を計画しています。その一つとして、7 月 20 日（金）、北見の夏祭りである「北見ぼんちまつり」の初日を飾る舞踊パレードに北見工業大学チームを結成し参加しました。

チームは学生、留学生、教職員合わせて総勢 91 人の大部隊となりました。このメンバーの中には、短期国際交流研修中の慶尚大工科大学の学生 10 人も教職員とと

もに加わりました。当日は夏とは思えないほどの寒さでしたが、大学関係者は応援にも数多く駆けつけました。パレードへの参加者は日頃着る機会が少ない浴衣を身につけ、大学での踊りの練習の成果を発揮し、夏祭りをたっぷりと楽しみました。

後日、地元メディアが本学のチームの写真を取り上げてくれ、大学の活気あふれるパレードが、お祭りを大いに盛り上げていたようです。今回の舞踊パレードへの参加が地域にとって大学をより身近に感じてもらえる機会の一つとなってくれたのではと感じています。



7 月 18 日、大学の総合研究棟エントランスで花柳喜衛成先生のご指導のもと、踊りの練習を行いました。



全員が心を合わせて踊りました



総勢 91 人の北見工業大学チーム



1 時間半の踊りを終了し、達成感で盛り上がる北見工業大学チーム

## オープンキャンパスを開催

(入 試 課)

7月28日(土)、高校生や保護者等を対象に本学の教育研究内容や学修支援環境を紹介することを目的として、恒例のオープンキャンパスを開催し、349人が参加しました。

当日は鮎田耕一学長の挨拶、田牧純一副学長による大学概要の説明、3系列の紹介の後、参加者たちは各学科において体験学

習等に参加しました。また、今年は初の試みとして、参加者が自由に本学の施設等を見学できる自由見学も実施しました。

昼食は在学生に人気のメニューが生協食堂で参加者全員にふるまわれ、午後から体験学習の第2部及び個別相談会、保護者向けの北見市の紹介等が行われました。



鮎田学長の挨拶



田牧副学長による大学概要の説明



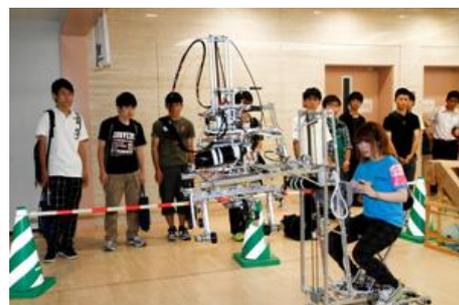
系列説明



体験学習



体験学習



自由見学



自由見学



学食体験



個別相談会

## 環境広場さっぽろ 2012 に参加・出展

(社会連携推進センター)

7月27日(金)から29日(日)まで、アクセスサッポロで開催された札幌市主催「環境広場さっぽろ2012」に出展しました。一般の来場者が多い本イベントでは、本学の教育システムを広報ビデオやパネルで紹介しました。今年の3月に最初の卒業生を輩出したマネジメント工学コース、バイオ食品コースについては、カリキュラム内容も紹介しました。技術紹介では、社会環境工学科の高橋修平教授が取り組む雪の冷熱利用に関する研究、マテリアル工学科の南

尚嗣准教授が取り組む摩周湖の水質モニタリングについて紹介しました。

本学のブースは大学をはじめとする学術機関とNPO等が出展する「環境横町」のゾーンに出展しました。来場者からは雪の冷熱利用の目的・具体的な利用方法や、摩周湖モニタリングに関しては測定環境や摩周湖の透明度について関心を集め、質問がありました。会場では、本学卒業生もスタッフや出展者としても参加しており、卒業生の活躍を知る機会にもなりました。

## = 日誌 =

### 6 月

- 4 日 役員会、オホーツク産学官融合センター事務局会議
- 5 日 教務委員会、入学者選抜委員会
- 6 日 教授会、研究科委員会、編入学試験（推薦入試）合格発表
- 7 日 編入学試験（学力試験入試）出願受付期間（～13日）、中小企業基盤整備機構個別相談会
- 8 日 学生選書ツアー
- 11 日 大学院入試出願受付期間（～28日、博士前期課程の推薦入試を併願する者：15日締切）
- 12 日 社会連携推進センター運営委員会（臨時）
- 13 日 教育研究評議会、開学記念日
- 16 日 八戸進学相談会
- 17 日 盛岡進学相談会
- 21 日 経営協議会、学長選考会議、役員会、中小企業基盤整備機構個別相談会
- 25 日 発明審査委員会、教育優秀者表彰式
- 27 日 社会連携推進センター運営委員会
- 30 日 父母懇談会（北見）、大学祭（～7月1日）研究室公開（～7月1日）、図書館ブックリユース（～7月1日）

### 7 月

- 1 日 KITげんき会役員会・総会
- 2 日 大学院工学研究科博士前期課程（推薦入試）面接試験、オホーツク産学官融合センター事務局会議
- 4 日 国際交流委員会、編入学試験（学力試験入試）
- 5 日 教務委員会、学生選書ツアー、中小企業基盤整備機構個別相談会
- 10 日 入学者選抜委員会
- 11 日 教授会、研究科委員会、編入学試験（学力試験入試）合格発表、大学院工学研究科博士前期課程（推薦入試）選考結果通知
- 12 日 安全衛生講習会
- 15 日 北苑寮自主消防訓練
- 16 日 北海道地区大学体育大会（弓道）
- 18 日 教育研究評議会
- 19 日 中小企業基盤整備機構個別相談会
- 25 日 社会連携推進センター運営委員会
- 26 日 オホーツク地域エネルギー環境教育研究会
- 28 日 図書館延長開館（～29日）、オープンキャンパス